

日本地質学会関東支部-日本第四紀学会ジョイントシンポジウム

「関東盆地の地下地質構造と形成史」のご案内

日 時：11月20日，21日の両日開催

場 所：日本大学文理学部3号館5階

参加費：一般2,000円（資料集代込み），学生 1,000円（資料集代）

後 援：日本応用地質学会・物理探査学会・東京地学協会・
東京大学地震研究所・日本大学文理学部

シンポジウム内容

A. シンポジウム会場

1日目：10：00－12：00，15：00－17：00

「首都直下のプレート地殻構造と地震発生」

2日目：10：00－12：10，15：00－17：00

「関東平野の形成と進化の新しい見方」

B. ポスター会場（コアタイムは両日とも13：30－15：00）

- ・ 約500kmの反射測線プロファイル（100km＝3mスケール）を一挙展示
- ・ 関東地域に関する一般講演

懇親会

日時：11月20日（土）17：30－

場所：日本大学文理学部キャンパス内のカフェテリア「チェリー」にて

会費：一般 5,000円，学生 1,000円（原則予約，当日参加も可能）

2011年，日本地質学会第118年学術大会＝水戸大会（於：茨城大学）

日本地質学会関東支部では，近年，関東地域で実施されてきた地下構造探査（大大特，首都プロ，国府津－松田プロなど）をはじめとする諸成果をベースに，「関東盆地の地下地質構造と形成史」をテーマとしたシンポジウムを，11月20日（土），21日（日）に日本大学文理学部を会場として開催します。本シンポジウムの第1の特徴は，約500kmにおよぶ反射測線のプロファイルを100 km = 3 m スケールでポスター会場に一挙に展示することによって，プロファイルを目の前にして関東地域の地下構造を議論できるところにあります。これは，広くゆったりとしたすばらしい建物を日本大学文理学部が提供して下さったことによってはじめて可能となったものです。第2の特徴は，本シンポジウムが日本第四紀学会との共催として行われることです。そして，さらにいくつかの学協会のご後援を頂く準備が進められていることです。このように，本シンポジウムは関東盆地の地下地質構造に関連する様々な学協会が連携し合う場となります。第3の特徴は，2011年開催の日本地質学会第118年大会（水戸大会）に向かう一つの重要な跳躍台であることです。本シンポジウムで提示される諸成果は，2011年の水戸大会においてさらに大きな議論へと発展するでしょう。（関東支部長 伊藤谷生）

※ 詳細は，関東支部HP（<http://kanto.geosociety.jp/>）にてご案内しています。また，ジオ・スクーリングネット（<https://www.geo-schooling.jp/>）にてCPD単位取得可能です。

日本地質学会関東支部-日本第四紀学会ジョイントシンポジウム

「関東盆地の地下地質構造と形成史」プログラム

会期 2010年11月20日（土）～21日（日）

会場 日本大学文理学部3号館5階

後援：東京地学協会，物理探査学会，日本応用地質学会，東京大学地震研究所，
日本大学文理学部

シ ン ポ ジ ウ ム

首都直下のプレート地殻構造と地震発生

11月20日（土） 10：00-12：00, 15：00-17：00 シンポジウム会場

10：00-10：15

※ 開会の挨拶（日本地質学会伊藤谷生関東支部長），物理探査学会内田利弘会
長，東京大学地震研究所平田 直所長，日本応用地質学会脇坂安彦副会長，
東京地学協会松田時彦会長

座長：加藤直子

10：15-11：05

S-1 首都圏における地下構造探査：堆積平野からプレートまで

……………佐藤比呂志・笠原敬司・平田 直・岩崎貴哉・加藤直子
伊藤谷生・木村尚紀・中山俊雄・阿部 進・須田茂幸
川崎慎治・斎藤秀雄・大西正純・川中 卓・井川 猛・太田陽一

11：05-11：30

S-2 首都直下の地震の姿に迫る：MeSO-netによる成果

……………平田 直・酒井慎一・中川茂樹・加藤愛太郎・蔵下英司
楠城一嘉・パナヨトプロスヤニス・小原一成
笠原敬司・明田川保・木村尚紀

11：30-12：00

S-3 MeSO-netのトモグラフィ解析による首都直下のプレート構造

……………中川茂樹・加藤愛太郎・酒井慎一
蔵下英司・パナヨトプロスヤニス・小原一成
笠原敬司・明田川保・木村尚紀・平田 直

ポスター（プロファイル）コアタイム 13：30-15：00 5階フロア

ポスターセッション展示測線図

- a. 小田原-飯能-幸手統合測線
- b. あきる野-印西統合測線
- c. 八王子-木更津沖統合測線
- d. 三島-藤沢測線（相模湾測線）
- e. 江東-姉崎-一宮統合測線
 1. 行田-狛江統合測線
 2. 幸手-松戸統合測線
 3. 手賀沼-横須賀-伊東統合測線
 4. 千葉-富津沖統合測線
 5. 小田原-道志測線
 6. 桂-白浜沖測線
- A. 桐生-小田原測線（関東山地東縁測線）
- B. 小田原-山梨測線
- C. 白浜-鹿嶋測線（房総半島縦断測線）
- D. 三島-藤沢（相模湾測線）
- E. 伊東-横須賀-浦安測線（相模湾-東京湾縦断測線）

……………佐藤比呂志・笠原敬司・平田 直・岩崎貴哉・加藤直子
伊藤谷生・木村尚紀・中山俊雄・阿部 進・須田茂幸
川崎慎治・斎藤秀雄・大西正純・川中 卓・井川 猛・太田陽一
- C1. 金谷沖-館山湾（BOSO 2008；千葉大学）
- C2. 勝浦-布良沖（BOSO 05；千葉大学）
- C3. 小湊沖-野島崎沖（Bo2007；千葉大学）
- C4. 小湊沖-野島崎沖（Bo2005；千葉大学）

……………伊藤谷生・津村紀子・山本修治・古屋 裕・浅尾一巳
須田茂幸・井川 猛・阿部信太郎・荒井良祐

15：00-15：30

- S-4 伊豆・小笠原弧の衝突による関東地方の長期地殻変動シミュレーション
……………橋間昭徳・佐藤利典・伊藤谷生・宮内崇裕

15：30-16：00

- S-5 地震波干渉法によって推定された関東平野の地下構造
……………吉本和生・平田 直・笠原敬司・小原一成・佐藤比呂志
酒井慎一・鶴岡 弘・中川茂樹・木村尚紀・棚田俊收
明田川保・中原 恒・木下繁夫

16：00-17：00 総合討論（プロファイルメイン）

17：30- 懇親会（同キャンパス，カフェテリアチェリー）

関東平野の形成と進化の新しい見方

11月21日（日） 10：00-12：00, 15：00-17：00 シンポジウム会場

10：00-10：10

※ 開会の挨拶（日本第四紀学会遠藤邦彦会長）、日本地質学会星 博幸行事委員長、水戸大会岡田 誠実行委員会事務局長、趣旨説明（日本地質学会関東支部幹事小田原 啓）

座長：小田原 啓

10：10-10：40

S-6 東京地下の上総層群テフラと関東平野の形成史

.....鈴木毅彦

10：40-11：10

S-7 過去の関東地震の履歴－最近の知見－

.....宍倉正展

11：10-11：40

S-8 伊豆衝突帯－関東平野の第四紀テクトニクス

.....石山達也・佐藤比呂志

11：40-12：10

S-9 ボーリング試資料解析に基づく関東平野中央部、綾瀬川断層周辺の地質構造モデル

.....水野清秀・松島紘子・木村克己
納谷友規・八戸昭一・本郷美佐緒

ポスター（プロファイル）コアタイム 13：30-15：00 5階フロア

前日と同様の測線図を展示

15：00-15：40

S-10 日本海の拡大からみた関東平野の基盤構造

.....高橋雅紀

15：40-16：20

S-11 地震探査の進捗と地質・地殻構造研究の新展開：房総半島を例として

.....伊藤谷生・浅尾一巳

16：20-17：00 総合討論・閉会の辞（日本地質学会山本高司関東支部幹事長）

一般講演 ポスター発表

11月20日(土), 21日(日)両日 ポスターコアタイム 13:30-15:00 5階フロア

- P-1 地質地盤情報協議会による新たな提言書「地質地盤情報の利活用とそれを促進する情報整備・提供のあり方」の出版
.....栗本史雄・佐脇貴幸・角井朝昭
松島喜雄・地質地盤情報協議会
- P-2 関東平野の更新世沿岸珪藻化石に関する新知見
.....納谷友規
- P-3 関東平野中央部に分布する中期更新世テフラの記載岩石学的特徴
.....坂田健太郎・中澤 努・中里裕臣
- P-4 5万分の1地質図幅「野田」にみられる第四系の層序と地質構造
.....中澤 努・田辺 晋
- P-5 千葉県流山市に掘削されたGS-KW-2の地蔵堂層からの有孔虫化石
.....金子 稔・石川博行・野村正弘・中澤 努
- P-6 東京低地と中川低地における最終氷期最盛期以降の古地理
.....田辺 晋・中西利典・石原与四郎
- P-7 多摩丘陵の上総層群(下部更新統)産介形虫化石群と産出意義
.....小沢広和・石井 透
- P-8 東京首都直下の第四紀断層の分布が意味するもの
.....豊蔵 勇・中山俊雄・島崎邦彦・山崎晴雄・須藤 宏
青砥澄夫・福井謙三・松崎達二・渡辺平太郎・川田明夫